

令和7年6月2日(月)

第1回 進路説明会 資料



世田谷区立用賀中学校

3年 組 番氏名 _____

目 次

1. 進路に対する学校の方針	1
2. 3年生としての心構えと進路選択の留意点	1
3. 高等学校の比較 都立・私立・国立校	3
4. 学科の特色	4
5. 入学者選抜法	9
6. 進路指導スケジュール	11
7. 就職について	12
8. 奨学金制度について	13
9. 本校の推薦条件	13
資料　　本校過去3年間の進学状況	14

1. 進路に対する学校の方針

- (1) 学校・家庭・社会生活を通して、自分自身をしっかりと見つめ、人間としての生き方・在り方を考えさせる。
- (2) 一人ひとりの適性の把握に努め、個性の伸長を図り、将来について深く考える機会を多く設ける。
- (3) 一人ひとりの学力向上に努め、実力をつけ、可能性を最大限に伸ばす。

(1)～(3)を意識させた学校生活を通して

- ・日々の授業を大切にしている。
- ・人の話をしっかりと聞き取っている。
- ・普段の生活の中で、決まりや時間を守り、けじめある生活をする。
- ・遅刻、服装、頭髪、言葉遣いや態度等に気をつけている。
- ・与えられた仕事（清掃当番、給食当番、日直、教科係、委員会など）を通じて、勤労を大切にする態度が必要なことを理解し、実践している。
- ・提出物の期限を守っている。
- ・自分自身を見つめ、自分の現在と将来を大切にするとともに、周囲の友達や家族を大切にする意識が育っている。

など、最上級生としてふさわしい人格形成に向けて、指導を重ねていきたい。

- (4) 進路についての最終的な判断を本人と保護者が相談と合意により決められるようにするため、学校は適切な判断ができるようできる限り資料を用意し助言する。
- (5) 「受験はチームプレー」と捉え、良い雰囲気の中で受験を迎えるよう、学年やクラスの環境整備に努める。
- (6) 進路指導は学年所属教員を中心に、全体で相談しながら進める。

2. 3年生としての心構えと進路選択の留意点

- (1) 日常の基本となる「学校生活」を大切にしよう

- ①欠席、遅刻、早退をできるだけしない。
- ②授業に真面目に取り組む。
- ③提出物や諸届け等の期限を厳守する。
- ④学校の決まりを守る（服装・頭髪・時間など）
- ⑤学校、学年の目標の達成に努め、行事に積極的に参加する。

- (2) 自分の学力を点検し弱点を知ろう

今まで学習したものがどれだけ理解されているかを、各教科、具体的に点検してみる必要があります。まずは1・2年で学習したことについて、もう一度確かめ、整理しておきましょう。

- (3) 自主的な学習を身につけよう

授業では各自が確実に理解して身につけようとする心がけが大切です。自分の目や耳でしっかりととらえ、頭で判断し、的確に行動し、1時間の授業を大切にし、真剣に取り組む態度が必要です。そのためには、準備も必要になり、授業で習ったことの整理もしなければなりません。授業を受け身にせず、充実したものにするためにも、予習・復習をしっかりとし、自主的に授業に臨みましょう。

- (4) 計画的に学習を進めよう

毎日の授業の準備や復習と、1・2年のまとめの学習に1日何時間、1週間でどれだけ時間が必要かを計算し、計画的に取り組んでいきましょう。先生や家族・友達などとも相談して、実行できるような計画を立て、根気強く毎日やりましょう。自分に合った効果的な学習法を工夫してみましょう。

(5) 会場テストを活用しよう

3年生になると、業者主催の会場テストの案内が多くなります。会場テストは学校の定期テストとは違って他校の生徒も受験するので、自分の実力を客観的に見ることができるよい機会です。一方、結果の善し悪しや出来不出来にばかり気を取られていると、焦りや不安が先に立ってしまいます。「場慣れ」するための良いチャンスと捉え、あくまでも学習の成果を見ることが第一であることを忘れないでください。視野を広く持ち、中学3年生にふさわしい、しっかりとした態度でベストを尽くしていきましょう。

(6) 進路希望先についてよく調べよう

～ 学校選びのヒント ～

①学校の特色をよく考える

特に学校の教育方針や校風などは学校生活の土台となります。学校案内やホームページなどの資料で確認しましょう。

②卒業後の進路を考える（例：大学進学、専門学校進学、就職 など）

大学付属高校の希望者が年々増加していますが、大学への推薦入学や優先入学の方法はまちまちです。付属高校の全員が無試験で入学できるとは限りません。条件をよく調べることが必要です。また付属高校でなくても、大学との関連を持っている高校もあります。都立高校でも多くの高校が大学への推薦制度（指定校推薦など）をもっています。調べてみましょう。

③通学時間・交通手段を考える

高校では家庭学習やクラブ活動に長い時間が必要となります。健康面や生活面からも通学時間があまり長いと負担になります。3年間通い続けることができるかをよく考えて選ぶようにしましょう。

④自分の学力を適切に把握する

入試得点の目安だけで決めるのではなく、入学後、ゆとりを持って学校生活を送れることが大切です。能力や個性を発揮できる学校を選びましょう。

⑤進学を希望する学校を見学する

学校見学会、体験学習、説明会、個別入試相談などに積極的に参加しましょう。推薦や併願優遇を希望の場合は、体験や学校見学だけで済ませず、必ず事前に個別入試相談をしておきましょう。入学してから「こんなはずじゃなかった・・・」と後悔しないようにするために、事前にいくつかの高校を見学し、その学校の教育方針を調べましょう。受験するつもりがあるところは必ず、そうでなくともいろいろな高校を見学し、体験入学などにも積極的に参加しましょう。校舎を見て、生徒を見ることで、その学校を知ることができます。通学距離や時間についても確認しておきましょう。また、合同説明会だと、一度に複数の学校担当者と話をすることができます。

(7) 親子で納得のいく話し合いをしよう

本人が納得しなければ良い結果は生まれません。しかし保護者の方も、生徒の皆さんのが充実した高校生活を送れるか、将来との関連をどう考えているかを真剣に考えててくれています。謙虚に意見を聞き、親子でじっくり話し合って最終決定をしてください。

3. 高等学校の比較 都立・私立・国立校

東京都内の高校は、都立高校・私立高校・国立大学附属高校の3タイプに分類されます。これらの高校でそれぞれの教育方針を持ち、学習・生活面でも特徴ある指導が行われています。

	都立高校（公立）	私立高校	国立大学附属高校
概要	都道府県・市町村などにより設置、運営されている高校。普通科のほかに専門学科もある。	各高校によって教育方針も校風もバラエティに富んでいる。公立と比べると学費が高い。	ほとんどが、各地の国立大学教育学部の附属高校として設置されている。
受験制度	推薦入試・一次募集（分割前期募集）・二次募集（分割後期募集）という3回の受検機会がある。推薦枠は募集枠の2割～5割。 <u>推薦入試の場合、合格したら必ずその高校に行くことが前提。</u> 推薦で不合格だった場合は、一般入試（一次・分割前期）を受験することができる。	1月に推薦入試（推薦枠は募集枠の5割まで）、2月に一般入試がある。推薦で不合格でも一般受験できる。推薦に当たっては推薦基準（主に評定による）がある。合格後、都立高校の発表まで手続を待ってくれる学校もある。	基本的には学区はないが、通学区域や通学時間を制限する高校もある。都立より試験の期日が早い。
入学試験	推薦入試は学力検査なし。個人面接・集団討論・作文か小論文を行う。実技があるところも。 *自己PRカードは点数化しない。 一次入試の入試得点は、①学力検査の得点と、②調査書点の得点。自校作成の入試問題（主に国・数・英）を実施する高校がある。	1月実施の推薦入試では推薦書・調査書・作文・面接・実技などをもとに選抜、発表。推薦入試で、適性検査として国・数・英のテストを実施する学校もある。一般入試はほとんどが国・数・英の3教科と面接。学校によって試験日と内容が異なる。選抜方法も入試得点重視型から面接重視型まで様々。	学校によって様々。5教科がほとんどだが、3教科十実技試験を行う高校もある。選抜は試験結果重視。
進路指導	文系・理系など、大学の志望学部に合わせてカリキュラムを組む。就職指導にも熱心。	進学・就職指導とも熱心に行われ、特別カリキュラムを組む高校もある。大学付属校には、推薦・優先入学などの特典がある場合も。	国立大の附属高校ではあるが、大学受験の際の特典は一切ない。ただし、進学実績は充実している。
生活校則	生徒の自主性が重んじられ、制服のない学校もある等、規律がゆるやかなところもある。	9割以上の学校で制服を定めている。学校の教育方針に沿った校則を設け、生活面の指導を厳しく行っている学校も多い。	生徒の自主性を重んじ、規律も本人の自覚に頼るところが多い。
部活動	盛んであり、弓道・ラグビー・写真部など高校ならではの部もある。	学校の特色の一つとして力を入れている。全国に知られるほど有名な部を持つ学校も多い。	盛んで、附属大学にある部をそのまま取り入れているものもある。

学費

	都立高校（普通科）	私立高校	国立大学附属高校
受験料	2, 200円	約22, 000円	約10, 000円
入学金	5, 650円	約250, 000円	56, 400円
授業料	年額118, 800円	年額約480, 000円	年額115, 200円
初年度納入	約27万円	約100万円 100万円を超える学校もある	各校で違うが 約17万～45万円

* 「高等学校等就学支援金制度」により、国公私立問わず高校等の授業料の支援として所得制限なく授業料が無償化されています。（ただし入学金、教科書代など授業料以外の費用については別途必要です。）

また、東京都独自の取り組みとして「私立高等学校等授業料軽減助成金事業」があり、49万円を上限とする補助が受けられます。助成額は対象区分によって異なりますが、所得制限はありません。

いずれも申請が必要となります。詳しくは他のパンフレットなどを確認してください。

4. 学科の特色

（1）都立高校

①課程について

- ア 全日制課程……朝から午後までの日中に授業があります。
- イ 定時制課程……夜間、その他定められた時間帯に授業があります。
- ウ 通信制課程……自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月2日程度）に登校し、面接指導を受けます。

②学年制と単位制

ア 学年制

学習する教科・科目が、学年ごとに定められており、その学習成果が認められると単位が与えられ、次の学年に進級する制度です。全日制は3年、定時制は4年（3年も可）を修了すると、卒業が認められます。

イ 単位制

学年の区別がなく、3年間（または4年間）の中で必修（必履修）科目のほかに自分に適した学科・科目を選択し、その学習成果が認められて、入学から卒業までに決められた単位を修得すれば卒業できる制度です。したがって「留年」がありません。

③特色ある教育活動を行う学校

進学指導重点校・・・難関国立大学等への進学希望を実現させることを目指す学校
(日比谷・西・国立・八王子東・戸山・青山・立川)

進学指導特別推進校・・・難関私立大学等への進学希望を実現させることを目指す学校
(小山台・駒場・新宿・町田・国分寺・国際・小松川)

進学指導推進校・・・意欲的に勉学に取り組む生徒の進学希望をかなえることを目指す学校
(三田・豊多摩・竹早・北園・墨田川・城東・武蔵野北
小金井北・江北・江戸川・日野台・調布北・多摩科学技術、上野、昭和)

④都立高校の学科

普通科

普通科は現代国語・古文・数学・英語・世界史・物理・化学などの一般教科によるカリキュラムが組まれています。大学へ進学を考えているならば、普通科が適しているでしょう。また、学校により異なりますが、大学進学のカリキュラムを組んでいるところも多くあり、文系・理系に分けて授業を行ったり、進学別のコース制を取り入れたり、進路相談を定期的に行ったりという具合に、進路指導に力を入れているところが多くあります。

総合学科

共通科目から専門科目まで、自分の興味や関心、進路希望に応じて幅広く学ぶことができる学校。

全日制 ○世田谷総合・・社会・教養・環境・サイエンス、国際・文化理解、ものづくり など

杉並総合・・ビジネス、メディア・文化、国際コミュニケーション、人間・社会 など

晴海総合・・情報システム、国際ビジネス、語学コミュニケーション、芸術・文化 など

定時制 ○桐ヶ丘・・福祉・教養、情報・ビジネス、アート・デザイン

世田谷泉・・生活・福祉、制作・技術、創作・表現 など

六本木・・芸術・カルチャー、情報・マネジメント、保育・ケアサービス など

農業科

農業科の学科は、大別して「園芸系」、「畜産・動物系」、「食品系」、「環境系」からなっており、それ自然や動植物にも親しみながら専門知識や技術を身につけていきます。

工業科

工業科にはさまざまな学科があり、大別すると次の6系統に分ることができます。

機械系	機械科、電子機械科、自動車科、プロダクト工学、オートモービル工学 など
電気系	電気科、電子科、システム工学科 など
化学系	環境化学科、理工環境科 など
建設系	建築科、都市工学科、設備工業科 など
工芸系	アートクラフト科、マシンクラフト科、インテリア科、デザイン科 など
総合系	総合情報科、キャリア技術科 など

工業科では講義、実習、実験などを通して専門科目を学んでいきます。

科学技術科

机上の学習だけではなく豊富な実験や研究を通じて化学技術を学びながら理系大学などへの進学を目指す進学型の専門学科。グループで行う実験（実習）、研究活動、発表授業などを通して力をつけていくことができます。

ビジネス・商業科

商業（ビジネス）に関する専門的な知識・技術を学習する。コンピュータ設備なども充実しているので情報処理の基礎や、それらに関連した資格も取得でき、実社会で活躍できる人材の育成を行っています。

ビジネスコミュニケーション科

英語とビジネスの学習に重点を置き、大学卒業後の将来を考える進学型の専門学科。使える英語と役立つビジネスを楽しく学べます。

情報科

アプリ・ソフトウェアの制作やプログラミング、画像処理など、コンピュータを利用した様々な仕事に必要な知識と技術を学習します。

産業科

ものの生産から流通、消費に至るまでの過程全般を学ぶことにより、広い視野をもった将来の起業家や自営業の後継者の育成を目指します。大学進学や高度な知識・技術の習得を目指す生徒にも対応しています。

水産科

大島海洋国際高校にあり、都内で唯一、海洋に関する専門知識や技術を身につけられる教育機関。実際に海に出る海洋実習などが行われています。

家庭科

服飾（デザインや縫製など衣服に関する知識・技術を学ぶ）食物（食物の知識や調理の技術を学ぶ）生活科学（家庭に関する専門科目を広く学ぶ）など生活に関連した分野です。将来の栄養士・保育士・デザイナー等になるための基礎・基本を学ぶことができます。

福祉科

将来、福祉系・医療関連職への就職および進学を目指す福祉科と、介護福祉のスペシャリストを養成する介護福祉科があります。所定の単位の履修により、福祉に関する国家試験受験資格の取得が可能です。

理数科

理数系分野の素養育成に重点を置きながら、幅広い教養を習得することを目指します。観察や数学や理科などに関する課題を設定し探求する学習を通じて、課題解決力や創造的な力を高めます。

芸術科

総合芸術高校に設置されているこの学科は、音楽科が3専攻、美術科は4専攻、舞台表現科は2専攻に分かれています。どのコースも大学の音楽や美術の専門学科に進めるように専門技術を磨いていきます。

体育科

普通科の約3倍も体育の授業があり、基本から応用まで確実に身につけ、卒業後は、ほとんどが体育大学、学部に進学します。

国際関係科

国際学科がある国際高校では、在京外国人、海外帰国子女の生徒も受け入れているので、国際色豊か。豊かな国際感覚を備えた人材育成をめざしています。英語のほかに、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語などを学ぶことができます。

コース制

普通教育を受けながら、自分の志望にあった専門教科を学べるところです。例えば、看護師をめざしている場合、看護師になるには、通常は高校卒業後に大学・短大・専門学校などで専門教育を受けた後、国家試験を受けます。しかし、看護系コースに入ると、高校にいるときから普通教育の他に、看護師に関する専門教科も学べるので、上級学校へ進んでからも勉強がしやすくなるなど有利な場合もあります。

⑤多様なタイプの高校

- 多様な学習型…芦花、翔陽など
 - 進学重視型…新宿、国分寺など
 - 専門型…六郷工科、忍岡
 - 定時制…新宿山吹、一橋、荻窪など
- この他、全日制総合学科、チャレンジスクールも単位制

チャレンジスクール・・今までの学校生活にははじめなかったり、自分の個性や能力を発揮できなかったりしていたが、夢や目標に向かってもう一度いちからチャレンジしたい生徒を応援する学校。自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯(部)を選んで入学する、三部制の定時制単位制総合学科。

(桐ヶ丘・世田谷泉・大江戸・六本木・穂ヶ丘、小台橋)

エンカレッジスクール・・一人一人のやる気を育て、励ます、基礎基本の学習重視の学校。

(足立東、秋留台、練馬工業、蒲田、東村山、中野工科)

昼夜間定時制高校・・午前・午後・夜間の三つの部の中から選んで入学する定時制・単位制の学校。

(新宿山吹、一橋、荻窪、浅草など)

その他、中高一貫教育校（小石川、桜修館、三鷹、富士 など）

*詳しくは 別冊子「令和8年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」を参照してください。

< 参考 第2回 進路説明会 10月23日(木) >

内容（予定）

- ・3年後半の生活で心がけること
- ・入試スケジュール
- ・入試の詳細

都立 推薦・一次・二次

私立 推薦・一般・二次募集

- ・就職について
- ・必要書類と準備するもの など

私立高校の募集要項や情報交換した内容、

9月に行われる教員向け都立入試説明会の内容、

東京都から配布される「令和8年度 東京都高等学校募集案内」などの資料をもとに、お話をします。

(2) 私立高校の学科

① 建学の精神から生まれる校風

私立高校では、創設者の教育理念が大切にされます。「誠実・明朗・健康…」とか、「〇〇精神にしたがつて…」といった方針で、それぞれ独自の教育が行なわれます。そのため、学年にこだわらず学習内容を進めていくところや、幼稚園から大学まで一貫した教育を行う学校もあります。

② 目的的にあわせて選べる

私立高校はバラエティーに富んでいます。

- a. 人間性と人格教育を重んじる学校
- b. 宗教・情操教育を重んじる学校
- c. 機械・建築・商業など職業教育を行なう学校
- d. 音楽・美術など技能教育を行なう学校
- e. 男子校、女子校、男女共学など

③ 徹底した進学指導や専門教育

国公立では進学指導に対して、極端な指導はあまりしませんが、私立高校では、高校によっては徹底した大学進学指導を行なうところもあります。大学附属ということで、若干有利な進学システムをもつ高校もあります。しかし、附属高校に入学しても、希望者全員がすんなりエスカレーター式に進学できるとは限りません。ほとんどの高校が、選抜試験や推薦制度によって優先入学者を決定していて、成績が悪いと大学にも希望の学部にも進めないことがあります。また、国公立には見られない特殊な学科で専門教育が行なわれている学校もあり、すぐれた施設や設備を活用して充実した専門教育を行っている高校もあります。

国際社会に通用する人材の育成を　**外国語・国際関係の学科**

近年、国際化が進む中、国際社会でも通用するような人材が必要になってきており、国際社会で活躍するためにはまず、語学力や国際感覚を身に付けることが大切です。私立高校では、多くの学校が英語科や英語コースを設置しているだけでなく、英語以外の外国語（フランス語やドイツ語・中国語）などを学ぶる学科・コースもあります。その他にも国際・国際経済・国際情報技術といった国際性のある学科・コースを設置しているところも数多くあり、このような学校では、外国人講師による会話授業・語学教育施設（Lし教室など）の設置、または海外への留学や研修の実施など、国際社会ではばたこうとする人たちを援助する体制を整えています。

日々進歩していく情報社会に対応　**情報関係の学科**

これからの社会に必要な情報処理の技術を身につけられるような情報処理・情報技術などの学科・コースを備えた学校もあります。これらの高校ではコンピュータを活用するための基礎知識や技術の習得が円滑になされるよう、カリキュラムや機械の整備がかなり充実しています。

その他にもユニークな学科が勢揃い　**その他の学科**

音楽、デザイン、芸術や看護・福祉・医療系の学科・コースを設置している学校があります。また、珍しいところで、演劇科やバレエコースなどもあり、バラエティーに富んでいます。

都立にはない！私立ならではのコース　**特進コース**

私立学校の特色の一つに、大学進学のためのカリキュラムが組まれていることが挙げられます。学校によつては国公立大学・難関私立大学等の大学進学のための入試教科に重点を置いたカリキュラムを1年生から組んでいるところも数多くあります。この大学進学を意識したカリキュラムを組む“特進コース”を設ける学校が増えてきています。“特進コース”的場合、早朝や放課後を利用した講座、夏休みを利用した講習会や合宿講座などが設けられている学校もあります。また、予備校が行う授業を衛星通信を使い学校で受講できる高校もあり、このような、きめ細かい進学指導が行われるのは私立ならではでしょう。“特進コース”も私立高校にしかない独特なコースです。

5. 入学者選抜方法

(1) 都立高校の場合

① 推薦入学

○推薦制度の目的

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの中学生たちに必要となる力を評価し、選抜する。

○選考

一般推薦

「調査書」「個人面接+自己PR」「集団討論」「小論文または作文」（「実技検査点」）その他の総合成績によって合否が判断されます。

文化・スポーツ等特別推薦

「調査書」「個人または集団面接」「実技検査」その他
の総合成績によって合否が判断されます。

*どちらの推薦も、合格したら入学を辞退することはできません。

② 第一次募集／分割前期募集

・選考

「調査書」「学力検査」（「小論文または作文」「実技検査」「面接等」）「スピーチングテストの結果」の総合成績で合否が判定されます。

・教科と比率

原則全ての学校で5教科（国・社・数・理・英）。比率は「学力検査」=7 「調査書」=3

調査書点は、学力検査がある教科を1倍、ない教科を2倍で計算します。

例 5教科の場合・・・国数社理英=1倍、音美体技=2倍 合計65点

例 3教科の場合・・・国数英=1倍、理社音美体技=2倍 合計75点

学力検査の一部にマークシートが採用されます。

③ 分割募集

都立高校の全日制には募集人員を分割し、第一次募集期間における選抜（分割前期）と第二次募集期間における選抜（分割後期）の2回に分けて募集する学校があります。

④ 第二次募集／分割後期募集

・選考

第一次募集／分割前期募集と同じ。

・教科と比率

原則全ての学校で3教科（国・数・英）。比率は「学力調査」=6 「調査書」=4

*都立高校の選抜に合格した場合、合格者はその年度のそれ以降の都立高校の応募資格がなくなります。
(入学手続きをしたかどうかには関係ありません。)

⑤ 第一次募集における学力検査問題（国語、数学、英語）を自校で作成する高校

（昨年度は、日比谷、国立、西、戸山、青山、立川、八王子東、新宿、国分寺、墨田川と国際高校（英語のみ））

定時制課程で一部の高校が独自に作成した問題で選抜を行っています。

⑥ 男女別定員制の廃止、男女合同選抜への完全移行

令和6年度入試から、一般・推薦選抜とともに、完全に男女合同選抜となりました。
(文化・スポーツ推薦を除く)

(2) 私立高校の場合

① 試験科目

試験科目は、3教科（国・数・英）の学校が大部分ですが、5教科（国・社・数・理・英）や2教科の学校、受験生に選択させる学校などもあります。また、ほとんどの学校で面接を実施しており、受験生の人柄、志望の動機、進学の意欲などを見ようとしています。言葉遣い、服装、挨拶などは、日頃の態度がそのまま反映するので、常日頃から注意することが大切です。また、音楽科や美術科などでは実技試験を、英語を重視しているところではリスニングを実施しているところもあります。実技試験を実施する学校は説明会などを行っているので、最大限利用した方がよいでしょう。

② 推薦制度

一般受験前に推薦による選抜を行なっています。詳細は、2学期に行われる「進路説明会」の中で細かく説明の予定です。

《推薦制度》

- ・推薦枠は募集人数の50パーセント以内。
- ・中学校長の推薦書、調査書、作文、面接、実技、適性検査などをもとに、各高校が選抜します。
- ・適性検査などを行い、条件を満たさないときは不合格になる場合もあります。
- ・推薦入試で不合格になってしまっても、一般入試は受験できます。
- ・出願は1月中旬、試験日は1月下旬。
- ・その高校を第一志望とし、合格した場合は、他校を受験することはできません。

○推薦基準

多くの私立学校では、10～11月頃までに、推薦基準を公表します。（2学期の評価は1・2学期を総合した評価です）基準は、調査書点（通知表の5,4,3,…を足したもの）で出している高校がほとんど。また、基準に足りない場合でも、英検などの資格があればプラス1点とするなど、資格や生徒会活動、部活動での活躍などをプラス評価する高校もあります。

○入試相談

中学3年2学期の評価を元にほぼ確定した調査書点をふまえ、中学校の教員が高校に行き、推薦入試や併願優遇を希望する生徒の出願資格について相談する機会です。例年12月15日。高校によっては、入試相談をしないところもあります。この相談で高校の先生より出願許可をもらえれば、推薦入試に出願することができます。

③ 一般入試での優遇制度

私立高校の一般入試で優遇制度を利用すると、一般入試の学力試験の得点に加点されるなどの優遇措置が受けられます。この制度を利用するためには、高校が定める内申点（素点）の基準を満たす必要があります。

○併願について

ある高校を第1希望とし、別の私立高校を第2希望とする場合、第1希望の学校に不合格となったら第2希望であるその私立高校に進学する（または入学手続きをする）という約束で、入試に関し何らかの優遇措置が設けられている制度です。その場合、「第1希望とする高校は都立高校のみ」と限定している場合が多くたのですが、最近は私立との併願を認める高校も多くなってきました。併願優遇の基準は、一般的に第1希望の推薦より基準が高くなっています。

○適性検査

上位校（倍率が高い人気校）では、推薦入試の際に適性検査と呼ばれる学力検査を実施することがあります。この場合、推薦基準を満たして出願できたとしても、調査書の内容や面接だけでなく、適性検査の結果が合否に大きく影響する場合があります。

*都立・私立とも、来年度入試の詳細は9月以降に発表されます。

6. 進路指導スケジュール

	月	主な行事	進路関係	進路計画	学習計画
1 学 期	6 月	期末考査	*第1回進路説明会 *第3回進路希望調査 (7/14〆切)	・自分自身をみつめ直し、自己の進路について考える ・上級学校や職業について調べる ・進路について保護者とよく話し合う ・上級学校見学をする 体育祭見学・学校説明会・見学会・体験授業・体験入部への積極的な参加 (Webで情報収集を)	基礎学力の充実 ・学習計画の作成 ・年間計画をたてる ・1・2年の総復習を始める ・不得意教科の予習復習に力を入れる ・学校の授業を大切にする ・期末考査の準備と反省 夏休み しっかり復習を・・・
	7 月	修学旅行 終業式 夏休み	*三者面談(7/22~29) *上級学校訪問		
	8 月	夏休み			
2 学 期	9 月	始業式 中間考査	*学習習得確認調査 (9/4) *高校の先生の話を聞く会	・具体的な目標（志望先）の検討 ・文化祭・体育祭・見学会・説明会・体験入学などを通し、各高校の様子を知り、進路選択をする	・基礎学力の完成 ・3年の復習
	10 月	合唱コンクール	*学習習得確認調査 (10/23) *第2回進路説明会 (10/23) *第4回進路希望調査 *進路面談 (10/28~11/4)	・自分自身を謙虚にみつめ直す ・自分の希望をはっきりさせる ・保護者、先生方とよく話し合う	・実力を養成するために問題を解く ・志望校の出題傾向を研究 ・面接練習開始
	11 月	期末考査	*面接練習・論文練習 *第5回進路希望調査 *実力テスト(11/18) *スピーキングテスト 【ESAT-J】(11/23)	・私立高校願書等の取り寄せ ・受験写真準備 (学校で案内する予定です) ・必要書類の準備	・自己P Rカードの記入 ・願書の記入練習・清書 冬休み 今までの総復習を・・・
	12 月	終業式	*三者面談 (12/2~10) *面接練習 *入試相談(教員) *調査書作成願	・会社訪問（就職希望者）	
3 学 期	1 月	始業式	*私立推薦出願 入試 (1/22) *都立推薦出願 入試 (1/26・27) *私立一般出願 *就職選考	<受験の準備> ・手続きの準備等誤りのないように進める	<実力完成期間> ・健康管理 ・受験の心得
	2 月	学年末 考査	*都立出願 *私立入試 (2/10~) ・発表・手続き *都立入試 (2/21) *就職選考	<受験・発表・手続き> ・全力を尽くす ・手続きは不備のないように	・面接試験でのマナー ・過去問に取りかかる 勉強は問題中心 弱点の補強を！
	3 月	卒業式	*都立発表・手続き (3/2) *私立二次 *都立二次	<進路先の決定> ・後悔のないように総合的に判断	

7. 就職について

生徒の多くがいずれ職をもちます。中学校を卒業して就職する者は、進学する人より一歩先に社会人になります。報酬を受けることや、働くことによる技術の習得など喜びも多いことでしょうが、現実には苦しいこともあります。中学卒業者の一年間の離職率が30~40%以上にのぼるのも、その現実を物語っています。また、厳しい不況を反映してここ数年は、たいへん厳しい就職戦線が続いています。しかしたとえ進学するにしても、各自が働くことの意義とともに、厳しい現実も直視し、自分の適性や将来の計画も考慮しながら、同時に就職先について、研究、調査等を十分行なうことが将来に役立つと考えます。

(1) 自分にあった職業を選ぶために

①自己分析

自分の体力や器用さ、能力や性格など、自分を見極めることが第一。家族、先生の意見などを資料にして考えること。また、個々の家庭の事情を考えることが大切です。

②職業分析

自分で就こうと思っている職業について、自分の希望、適性に応じた職業について調べてみる。更に職業安定所が学校に送ってくれる資料や事業所見学の機会をとらえて、会社や、職場の特徴、施設の規模、環境（通いやすさなど）仕事の内容、労働条件（勤務条件、給与、定時制高校通学可能か）などをよく調べ、長く勤めることのできる職場を選ぶことです。

(2) 就職するには

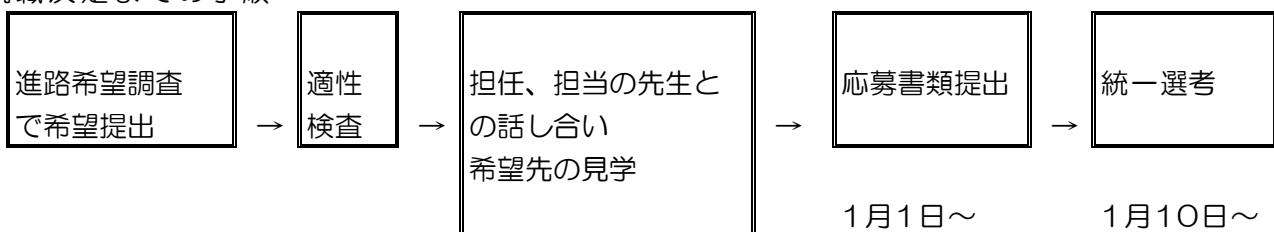
①ハローワークの紹介による場合

ハローワークが監督者の立場で、労働条件、設備など、就職する人に不利にならないようチェックし、先生の方でもいろいろな方面から調べることができます。2学期になるとそれぞれの事業所から求人要項がでます。担任の先生や就職担当の先生と相談して決めましょう。場合によっては先生と一緒に事業所を見学に行き、実際に目で確かめて話を聞くのもよい方法です。

②縁故による場合

この場合も、必ず担任や担当の先生と連絡を取り合ってください。縁故就職はとかく雇用関係や身分の保証についてあいまいになる場合が多いので、注意が必要です。一生の大変な選択ですから、知り合いの紹介で就職する場合にも、学校と職業安定所を通すようにしましょう。

③就職決定までの手順



(3) 職業の選び方

- ①労働条件・賃金や労働時間
- ②職種・仕事の内容
- ③資格・能力や技能
- ④将来の見通し・独立の可能性、昇級や昇進
- ⑤自分自身のこと・能力や体力や希望が仕事にあってるか
- ⑥加入保険・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- ⑦働きながら学ぶ方法・定時制や通信高校に通学できるかどうか

(4) 就職の準備

- ①学業のしめくくりのつもりでしっかりと行動しましょう
- ②好ましくない習慣やくせ、社会人として恥ずかしいことなどは、1日も早く直すように心がけましょう
- ③言葉遣い、礼儀作法を身につけましょう
- ④自分の考えを親、先生、ハローワーク担当者とよく相談しましょう

(5) その他

①企業内訓練校

会社の中の養成制度で、普通3年間教育を受けます。高校卒の資格が得られ、将来その会社に就職します。

②都立職業能力開発センター

東京都にはいくつかの職業能力開発センターがあり、職業に必要な知識・技能を身につけることができます。無料の学科も多くあり、期間も様々です。

8. 奨学金制度について

進学の意志があるのに経済的に困難な場合、奨学金制度を利用しましょう。様々な制度があり、申請の条件も制度によって様々です（年収や家庭の事情・学力面等）。希望する場合は、担任の先生へ申し出て書類を受け取り、学校締め切り日までに書類を提出してください。現時点で学校に届いているものは以下の通りです。

奨学金名称	金額等	申し込み	応募資格など
東京都育英資金	国公立 月額 18,000 円 私立 月額 35,000 円	予約募集がもうすぐ始まりますが、上級学校に進学してから申し込むこともできます。	所得制限あり
あしなが育英会	月額 3 万円 私立学校入学一時金貸与	9/1～12/15	保護者が病気や災害など
交通遺児育英会	月額 2～4 万円 入学一時金制度などあり	すでに予約応募はできます。	保護者が交通事故に遭った方の子ども

9. 本校の推薦・優遇条件

用賀中学校で推薦・優遇制度を希望できる生徒

(1) 目的意識

志望校への教育理念や求められている生徒像を理解して、強い進学の意思を持っている。

(2) 学習

意欲を持って授業に参加し、学習の向上、心身の向上に積極的に取り組んでいる。

(3) 生活

中学校生活としての基本的な生活習慣やマナーを身につけ、「学校生活の決まり」を守った身なりや行動ができる。

(4) 特別活動

学級活動（当番活動・係活動等）、生徒会活動（委員会活動等）、部活動、ボランティア活動等の諸活動に、熱心に、かつ継続的に取り組んでいる。

(5) 繼続

進路先においても上記（1）～（4）に当てはまる行動をとり努力を続けることができる。

(6) 以下の事項に該当しない者

①第3学年において、暴力行為、喫煙、万引き等の刑法等における処罰の対象となるような行為を行い、指導を受けたが改善する姿勢が見られない。

②第3学年において、病気やケガなどのやむを得ない事情がある場合を除き、欠席や遅刻が著しく多い。

③「学校生活の決まり」を守らず以下のような行為を繰り返し、指導を受けたが改善する姿勢が見られない。

授業離脱、授業妨害、暴言、器物破損、異装、菓子類飲食、その他の迷惑行為

○推薦優遇希望は、家庭から学校に「推薦・優遇願い」を提出することによって明らかにされ、学校全体で協議し、校長名で推薦された後、初めて推薦入試の受験が可能になります。

進路状況一覧（過去3年間）

2025.4.1現在

私立	令和4年度	令和5年度	令和6年度	私立	令和4年度	令和5年度	令和6年度	都立・公立	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青山学院		○	○	東京立正	○			青山	○	○	○
飛鳥未来	○		○	桐光学園		○		赤羽北桜			○
飛鳥未来きずな	○			東洋		○		飛鳥			○
あすさ第一	○			トキワ松学園	○	○	○	園芸	○	○	○
N高	○	○	○	二松学舎大附属	○			大崎	○		○
科学技術学園	○	○	○	新渡戸文化			○	荻窪		○	
学習院			○	日本ウェルネス	○			北園		○	
関東国際		○	○	日本工業大学駒場	○		○	工芸			○
錦城		○		日本体育大学荏原	○			国際	○	○	○
国立音楽大学付属		○		日本学園	○			柏江	○	○	○
クラーク記念国際		○		日本大学櫻丘	○	○	○	駒場（含保体）	○	○	○
慶應義塾	○		○	日本大学鶴ヶ丘		○	○	小山台	○	○	○
慶應志木	○		○	日本大学豊山			○	桜町	○	○	○
佼成学園女子		○		羽田国際		○		新宿			○
國學院	○	○	○	ヒューマンキャンパスのぞみ			○	新宿山吹		○	
国際基督教大学		○		富士見丘			○	神代			○
国土館（含定期制）	○	○	○	文教大附属	○	○	○	杉並総合	○	○	
駒込	○			朋優学院	○	○	○	世田谷泉	○		
駒沢学園女子	○			保善	○	○	○	世田谷総合	○	○	○
駒澤大学	○	○	○	武蔵野大学附属千代田		○		総合工科	○		○
駒場学園	○	○	○	明星学園			○	総合芸術	○	○	○
さくら国際	○			明治学院			○	第一商業			○
実践学園		○	○	明治大学中野			○	多摩科学技術			○
品川翔英		○	○	明聖			○	千歳丘	○	○	
芝浦工業大学付属		○		目黒学院	○	○	○	田園調布	○	○	○
芝国際	○			目白研心		○		豊島			○
下北沢成徳	○			屋久島おおぞら			○	戸山	○	○	
自由ヶ丘学園	○	○	○	八雲学園			○	豊多摩	○	○	○
淑徳		○		立教新座	○	○		成瀬			○
淑徳巣鴨	○			立正大学付属立正	○			西	○		○
潤徳女子	○			和光	○			東	○		
女子美術大学付属		○		早稲田大学高等学院	○	○		日比谷	○	○	○
昭和鉄道			○	早稲田佐賀		○	○	広尾	○	○	○
白梅学園高等学校		○		早稲田大学本庄高等学院	○			深沢	○	○	○
巣鴨	○			常盤木学園		○		松原	○	○	○
杉並学院		○						三田			○
精華	○							目黒	○	○	○
成城学園		○						雪谷	○	○	
正則	○	○						芦花	○	○	○
正則学園		○						六郷工科		○	
青稜	○							六本木			○
世田谷学園		○						産業技術高専		○	
専修大学附属	○	○						愛媛県立三崎	○		
仙台育英	○							岩手県立大迫	○		
第一学院			○					神奈川県立秦野曾屋	○		
玉川学園	○							北海道美幌高等学校		○	
玉川聖学院	○							埼玉県立三郷高等学校		○	
多摩大学目黒	○	○						群馬県立尾瀬高等学校		○	
中央大杉並		○						神奈川県立厚木王子			○
鶴川	○							長野県立白馬高等学校			○
貞静学園		○						島根県立大東高等学校			○
桐蔭学園		○	○					茨城県立大子清流			○
東海大学付属相模	○										
東海大学付属高輪台		○									
東海大学付属望星		○		国立	令和4年度	令和5年度	令和6年度	専門・専修学校	令和4年度	令和5年度	令和6年度
東京	○	○	○	東京科学大学附属科学技術		○	○	野田鎌田学園杉並	○		
東京音楽大学附属	○			東京工業高等専門学校	○			パンタンゲームアカデミー高等部	○		
東京家政学院	○		○					ルネサンス			○
東京家政大学附属女子	○							東京表現高等学校MIICA			○
東京実業	○										
東京都市大学等々力			○					海外現地校			○
東京農業大学第一	○	○									